



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年5月7日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL http://www.fixstars.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	1,761	22.7	383	43.2	394	51.1	269	67.1
26年9月期第2四半期	1,435	-	267	-	261	-	161	-

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 275百万円 (70.6%) 26年9月期第2四半期 161百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	41.47	39.81
26年9月期第2四半期	28.64	-

- (注) 1. 当社は、平成26年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 平成26年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
 3. 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第2四半期	2,042	1,631	79.9	248.63
26年9月期	1,894	1,382	73.0	213.80

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 1,630百万円 26年9月期 1,382百万円

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	-	0.00	-	12.00	12.00
27年9月期	-	0.00	-	-	-
27年9月期(予想)	-	-	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	19.1	500	10.5	508	16.4	318	16.3	48.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	6,561,500株	26年9月期	6,466,500株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	－株	26年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	6,507,953株	26年9月期2Q	5,640,000株

（注）当社は、平成26年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国等海外経済の減速が意識されたものの、原油安や低金利、株高及び個人消費の持ち直しをうけて、企業業績が改善し、引き続き緩やかに回復いたしました。一方で、将来の景況については、多くの企業が、公共投資の一服や円安による高コスト、輸出回復の緩慢及び世界経済の先行き不安により、悪化を見込む慎重姿勢をとっております。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えてストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動車分野で注目されている車載向け先進運転支援システム(ADAS: Advanced Driving Assistant System)関連の案件、医療機器や製品製造検査装置向けの組込みソフトウェア案件及び金融分野やビッグデータ分野を対象とした高速シミュレーションシステム案件について、継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、長期継続が見込める半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が引き続き大幅に拡大しております。また、自社商品である「M³(エム・キューブ)ソリューション」の開発及び営業にも引き続き注力しております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。また、次期重点戦略事業と位置づけている大容量高速ストレージについては、当第2四半期連結累計期間までの販売数が期初年間計画を上回り、好調に推移しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、グローバルな事業展開のための市場調査を展開しております。また、北米地域において大容量高速ストレージの販売を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,761,889千円(前年同期比22.7%増)、営業利益383,201千円(前年同期比43.2%増)、経常利益394,504千円(前年同期比51.1%増)、四半期純利益269,881千円(前年同期比67.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ソフトウェア・サービス)

ヘルスケア分野及び産業機器分野では、医療機器、製品製造検査装置及び車載機器向けに、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理を実現するソリューションを提供しております。モバイル分野においては、半導体メーカー向けのメモリコントロールのためのファームウェアやデバイスドライバの開発を中心に、長期継続的なサービスを提供しております。金融分野では、大手銀行や証券会社のリスク管理等のシミュレーション高速処理のためのソリューションを中心に、安定的かつ継続的にサービス提供しております。

モバイル分野を中心に引き続き案件が拡大し、その結果、売上高は、1,357,289千円(前年同期比46.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、351,828千円(前年同期比56.7%増)となりました。

(ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が期初計画通りの水準であったことに加え、大容量高速ストレージ販売が好調に推移し、その結果、売上高は、404,600千円(前年同期比20.7%減)、セグメント利益(営業利益)は31,372千円(前年同期比29.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて148,063千円増加し、2,042,204千円となりました。これは、売掛金が82,079千円、原材料が99,242千円、投資有価証券が42,207千円増加した一方で、現金及び預金が71,710千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて100,808千円減少し、410,798千円となりました。これは、未払法人税等が12,971千円増加した一方で、買掛金が17,448千円、1年内償還予定の社債が10,000千円、役員賞与引当金が63,000千円、社債が10,000千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて248,872千円増加し、1,631,406千円となりました。これは、資本金が25,125千円、資本剰余金が25,125千円、利益剰余金が192,283千円増加したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ71,710千円減少し、874,387千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は17,841千円(前年同期比77.0%減)となりました。これは主に、役員賞与引当金の減少(63,000千円)、売上債権の増加(79,853千円)、たな卸資産の増加(108,143千円)及び法人税等の支払(115,471千円)があった一方で、税金等調整前四半期純利益(394,504千円)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は△45,885千円(前年同期比1,120.9%増)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出(36,341千円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は△45,827千円(前年同期比68.1%減)となりました。これは主に、社債の償還による支出(20,000千円)、配当金の支払(76,567千円)があった一方で、株式の発行による収入(50,250千円)があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の業績予想につきましては、平成26年11月10日付の「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想から変更しております。

詳細につきましては、平成27年4月28日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,097	874,387
売掛金	697,188	779,267
商品及び製品	7,599	20,490
仕掛品	12,068	8,078
原材料	—	99,242
繰延税金資産	33,975	36,296
その他	31,929	22,251
流動資産合計	1,728,857	1,840,013
固定資産		
有形固定資産	34,520	30,867
無形固定資産		
その他	27,215	26,928
無形固定資産合計	27,215	26,928
投資その他の資産		
投資有価証券	—	42,207
繰延税金資産	965	709
敷金及び保証金	102,370	101,340
その他	211	137
投資その他の資産合計	103,547	144,394
固定資産合計	165,283	202,190
資産合計	1,894,141	2,042,204
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,612	69,164
1年内償還予定の社債	30,000	20,000
未払法人税等	120,850	133,822
賞与引当金	43,943	45,760
役員賞与引当金	63,000	—
その他	137,199	122,050
流動負債合計	481,607	390,798
固定負債		
社債	30,000	20,000
固定負債合計	30,000	20,000
負債合計	511,607	410,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,968	516,093
資本剰余金	396,968	422,093
利益剰余金	497,135	689,419
株主資本合計	1,385,072	1,627,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	3,845
為替換算調整勘定	△2,538	△535
その他の包括利益累計額合計	△2,538	3,310
新株予約権	—	490
純資産合計	1,382,534	1,631,406
負債純資産合計	1,894,141	2,042,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,435,695	1,761,889
売上原価	895,469	1,035,089
売上総利益	540,226	726,800
販売費及び一般管理費	272,661	343,599
営業利益	267,565	383,201
営業外収益		
受取利息	34	71
為替差益	1,920	2,322
保険解約返戻金	870	—
助成金収入	—	10,000
その他	12	258
営業外収益合計	2,837	12,652
営業外費用		
支払利息	1,852	962
株式交付費	4,234	—
株式公開費用	2,000	—
支払保証料	559	386
その他	694	—
営業外費用合計	9,340	1,349
経常利益	261,062	394,504
税金等調整前四半期純利益	261,062	394,504
法人税、住民税及び事業税	100,871	128,524
法人税等調整額	△1,342	△3,902
法人税等合計	99,529	124,622
少数株主損益調整前四半期純利益	161,532	269,881
四半期純利益	161,532	269,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	161,532	269,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	3,845
為替換算調整勘定	87	2,002
その他の包括利益合計	87	5,848
四半期包括利益	161,620	275,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,620	275,730

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261,062	394,504
減価償却費	7,249	12,991
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,778	1,817
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	14,500	△63,000
受取利息及び受取配当金	△34	△71
支払利息	1,852	962
為替差損益(△は益)	△1,570	△2,646
株式交付費	4,234	—
株式公開費用	2,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△199,126	△79,853
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,085	△108,143
仕入債務の増減額(△は減少)	50,904	△17,448
その他	12,501	△2,882
小計	142,709	136,229
利息及び配当金の受取額	34	71
利息の支払額	△1,816	△962
法人税等の支払額	△63,204	△115,471
移転費用の支払額	—	△2,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,722	17,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,758	△4,395
無形固定資産の取得による支出	—	△5,147
投資有価証券の取得による支出	—	△36,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,758	△45,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△85,200	—
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
株式の発行による収入	—	50,250
新株予約権の発行による収入	—	490
株式公開費用の支出	△2,000	—
リース債務の返済による支出	△2,566	—
配当金の支払額	△33,840	△76,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,606	△45,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,454	2,161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△68,187	△71,710
現金及び現金同等物の期首残高	455,073	946,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	386,886	874,387

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	計		
売上高					
外部顧客への売上高	925,368	510,327	1,435,695	—	1,435,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,446	—	22,446	△22,446	—
計	947,815	510,327	1,458,142	△22,446	1,435,695
セグメント利益	224,564	44,164	268,728	△1,163	267,565

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,357,289	404,600	1,761,889	—	1,761,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,357,289	404,600	1,761,889	—	1,761,889
セグメント利益	351,828	31,372	383,201	—	383,201

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。